

優秀賞

一般建築物の部

建築主：銚子商工信用組合
設計：株式会社 竹中工務店
施工：株式会社 竹中工務店
岡田土建 株式会社
大勝建設 株式会社
所在地：銚子市東芝町1-19

地域経済活性化のシンボルとなる建築

銚子商工信用組合本店



透明さと堅牢さを併せ持つ建築

昭和28年創立以来、銚子市を中心に千葉県発展に貢献してきた銚子商工信用組合である。

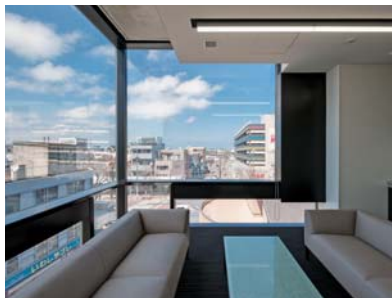
新本店は、地域住民に親しまれる身近な金融機関として更なる地域経済の発展と繁栄に貢献するため、外観は透明度が高く、街や地域住民に開放的でありながら街並みを映し込むことで周辺建物と調和させると同時に、免震構造を採用し、地域住民の人命や資産を地震・津波から守る銚子市津波避難ビルの認定を取得する等の高い堅牢さを併せ持つ、建築である。

「透明さと堅牢さを併せ持つ建築」

2つの相反する要素を両立させる柱・梁を同厚さにしたフラットプレート架構。

「映り込みや外部テラスの積極的配置による周辺地域との調和」

銚子の空や周辺建物の映り込み、さらに外部テラスの積極的配置により、周辺地域との調和を図った。



街の風景を最大限室内に取り込んだリフレッシュスペース

「街の風景を最大限取り込み、開放的で気積の大きな内部空間」

複層ガラスの最大級の窓をコーナーに配置することで、銚子の風景を最大限に取り込んだ。事務室天井は、構造床スラブを直天とし階高を抑えながら高い天井高さを確保し、気積の大きい開放的な内部空間を実現した。

「建物と街との優しく柔らかい繋がり」

夕方は建物の室内の光が窓やテラス越しから外部に溢れでることで周辺地域を優しく照らしたし、建物と街は柔らかに連続して繋がっていく。

これからの銚子市地域経済活性化のシンボルとなる建築である。

(圓崎 直之)



気積の大きい開放的な事務室

(撮影/FOTOTECA)